

学会彙報

(昭和五十七年十一月
昭和五十八年五月)

◇佛教学会研究発表例会

十一月十日(水)午後一時

於 第一研究室分室一
研究発表

華嚴同別二教判の成立について

博士課程三回 織田 顕祐

シュリーラータの心所説

博士課程三回 兵藤 一夫

入中論におけるスヴァータントリカ

批判 教授 小川 一乗

出席者二十七名。

◇佛教学会公開講演会

十一月十八日(木)

於 尋源館講堂

講師 東京大学教授・文博 高崎直道

講題 菩提と涅槃

出席者百数十名。

◇佛教学会研究発表例会

十二月七日(火)午後一時

於 一号館一〇二教室

研究発表

成実論所引のアーガマについて

博士課程三回 加治 洋一

中辺分別論相品第一・第二偈について

助教授 片野 道雄

出席者三十名。

◇昭和五十七年度

修士論文・卒業論文梗概発表会

一月十八日(火)午後四時

於 二二〇二教室

学会長の挨拶の後、論文提出者の中

から二十四名が論文要旨を発表した。

発表会後、学内食堂にて懇親会を開い

た。出席者八十名。

◇公開講演会(主催 真宗総合研究所海

外佛教研究班 協賛 大谷大学真宗学

会・佛教学会)

四月四日(月)午後三時

於 真宗総合研究所会議室

講師 Dr. Luis O. Gómez, Professor

of Buddhist Studies, Univer-

sity of Michigan; Director,

Collegiate Institute for the

Study of Buddhist Literature

講題 "Buddhism as a Religion of

Hope: An Indian Perspective

on Shīran"

(「希望の宗教としての佛教—

インド佛教からみた親鸞—)

◇学術懇談会

— Dr. N. Tatia 先生を

囲んで—

五月十三日(金)午前十一時より

於 第三会議室

出席者十数名。

(Dr. Natmal Tatia

Director of Jain Vishva Bharati;

Ex-Director of Nālanda Institute)

◇佛教学会研究発表例会

五月二十五日(水)午後四時

於 三一〇三教室

研究発表

最澄の円戒受容について

博士課程三回 山崎 欣弥

唯心と唯識について

助教授 舟橋 尚哉

出席者三十数名。

◇佛教学会新入会員歓迎会

五月二十八日(土)午後二時より

於 愛染倉 (式) 講堂

◆ 講そばを食しつつ味わいのある歓迎会をもつことができた。出席者四十数名。尚、本年度の新会員は、博士後期課程四名、修士課程六名、文学部三回生編入九名、文学部二回生一〇七名である。

◆ 編集集後記

出版部二十一日

○ 論争は最後に言った方が勝つ、というのが先生御自身の講義中の弁であった。してみれば長く生きの方が勝つことにもなる。先生は、論争そのものもつ「病い」のごときロジックを知りつくしておられるにちがいない。本号の舟橋論文はそれである。

○ 柳田・広瀬両先生からは、当学会のメンバーによる著作を批評していただいた御多忙の折、しかも早々に原稿をいただいたことをここに御礼申し上げます。

○ 横超先生からは好評の続編「研究生活の歩み」をいただいた。今回は、近代佛教学草創の時代から、先生御自身の研究

に着手された経緯へと展開していく。

○ その他、ジャイナ教の認識論を扱う長崎論文、弥勒佛の出世について諸文献を網羅する木村論文、またカルカッタ大学留学中の山下氏より「海外ニュース」をいただいた。最後に、世親二人説を思想上の相違より論証しようとして試み、かつて学界の話題をさらったシュミットハウゼン教授の問題の論文が加治氏により翻訳され、ここに載せることができた。

○ 毎回のように遅くれている発行を深く反省し、お詫びいたします。(輝)

賛助会員募集

次の要項で賛助(定期購読)会員を募集いたします。会員には本誌を発行後すみやかに送りし、本会の出版物を割引価格でおわけします。

○ 年間会費(二冊分)

国内 一、七〇〇円
海外 二、一〇〇円

○ 申込み603 京都市北区小山上総町
大谷大学第一研究室内
大谷大学佛教学会

* 申し込みは郵便振替が便利です。
(京都) 45303 大谷大学佛教学会)

「佛教学セミナー」バックナンバー発売中

既発行の「佛教学セミナー」のバックナンバーを御希望の方は、佛教学会又は文楽堂書店に申し込み下さい。二冊以上お申し込みの方には送料を当方で負担します(一冊のみの場合、送料50円)。

1~12, 14号品切れ	20 号	品切れ(特集号)*
13 号 300円	21~24号	600円
15~17号 350円	25~31号	700円
18~19号 400円	32~36号	800円

* 第20号は特集号につき、別に単行本として文楽堂書店より刊行(品切れ)。

※既刊号の総目次は本誌26号に掲載されています。

13, 22号は残部僅少です。